

# つながることができる居場所

ながさき子ども食堂ネットワーク 事務局長 数山 有里



## プロフィール

長崎県佐世保市生まれ  
 幼稚園教諭7年 保育士2年  
 2016年 親子いこいの広場もくもく 設立 代表  
 2017年 ながさき子ども食堂ネットワーク 設立 事務局長  
 2020年 させぼ子ども食堂ネットワーク 設立 代表  
 一般社団法人E-BA 設立 代表



**子**ども食堂のことを知っていますか？今、全国に子ども食堂の数がどんどん増加し、1万867か所になりました。長崎県では、ながさき子どもネットワークに加盟している子ども食堂では60か所以上あり、こちらも毎年増加しています。

私が開催している子ども食堂は、2016年に設立し、週に1回の子ども食堂を実施しています。

では、なぜ私が子ども食堂の活動を始められたのか。

私は長崎県佐世保市に生まれ、福岡の短大を卒業した後、幼稚園

教諭、海外への留学、保育士を経て、私自身が親になり子どもは中1、小4、小1の3人と主人の5人家族です。

## 保

育士から、親になり、子育てをするようになったときに、保育士では感じとれなかった、子育ての悩みであったり、孤独や孤立から生まれる、子育ての負担感であったり、悩みが絶えないなか、長女が心臓病をもって生まれてきました。子育てにさらに悩むようになり、誰にも相談できず、きつい日々をすごしていました。人との出会有り、繋がっていくこ

とで、心が休まり、勇気づけられ、子育てができるようになりました。

## 私

が子育てしている、佐世保市は、自衛隊世帯、米軍世帯、など実家がちやうにない人が多くいます。また、シングルマザーもとても多いです。一人で子育てしているワンオペ育児している人が多いなか、頼れる人もいません。

私自身もっと人に頼りたい、もっと手助けしてもらいたいと感じた時に、子育てをシェアできる居場所を作りたいと思い、子ども食堂を開設することに決めました。

## 子

ども食堂とは、子ども達が無料または安価で食事ができる場所で、主に地域のボランティアで運営されています。

子ども食堂様々です。小さな子どもから、高齢者まで利用することができ、地域のコミュニティとしても役割があったり、地域の大人たちが子ども達を見守り、支えていく居場所としての役割もあります。



もくもく食堂



**子**育てに困り感のある方からの相談も沢山あります。特に今の物価高騰で、食事の心配であったり、生活での心配なことであったり。全てをすぐに解決することはできませんが、寄り添い、その人に合った支援に繋げるようにしています。

今は官民連携として、行政との連携をとりながら、支援が必要ながいければ、行政に繋げたり、行政から要請があれば、食材を届けたりしています。

## 今

日も子ども達は「ただいまー!!」と言って子ども食堂に来ます。いつもの場所で、友だちと一緒に遊んだり、お手伝いに来てくれている大学生といっぱいお話ししたり、宿題を教えてもらったり、ママたちは、子育ての話をママ同士でし、ゆっくり過ごしてくれています。



自分の「居場所」

これが子ども食堂の当たり前前の風景、何も特別なことではないけれど、それを求めてきてくれる人たちがいっぱいいます。  
 小学生の時から来てくれている女の子が、今高校生になりました。彼女は一人っ子です。小さな子どものお世話をしてくれるうちに「小さな子と遊ぶのがとても楽しいので、保育士になりたい夢ができました。」と話してくれました。  
 何気ない子ども食堂の活動が、体験となり、夢となる。そんな素敵な居場所が子ども食堂です。  
 皆さんにはありますか？